事務事業評価シート

（平成 26 年度実施事業）

事務事業名	ＩＴ活用推進事業			事業コード	0067
所属コード	012100	課等名	総務部 情報企画室	係名	
課長名	高橋　享孝	担当者名	畠山　恭子	内線番号	2664
評価分類	■ 一般　□ 公の施設　□ 大規模公共事業　□ 補助金　□ 内部管理				

1　事務事業の基本情報

(1) 概要（旧総合計画体系における位置づけ）

総合計画体系（旧）	施策の柱	心がつながる相互理解	コード	3
	施策	快適な情報ネットワークの実現	コード	4
	基本事業	情報通信機能の整備	コード	1
予算費目名(H26)	一般会計 02 款 01 項 01 目 ＩＴ活用推進事業（012-05）			
特記事項(H26)	総合計画主要事業			
事業期間	■単年度　□単年度繰返　□期間限定複数年度		開始年度	年度
根拠法令等(H26)				

(2) 事務事業の概要

もりおか地域 SNS を運営し，市民がインターネット上で気軽に意見交換・情報交換できる環境を提供する。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

パソコン，インターネットの一般家庭への普及率が低く，インターネットを利用したいという市民からの要望があった。また，デジタルディバイド（情報格差）を少しでも解消する必要があった。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

もりおか地域 SNS は，Facebook や Twitter など他 SNS の普及に伴い，利用者数の伸び悩み，常時利用者の固定化がみられる。

2　事務事業の実施状況（Do）

(1) 対象（誰が，何が対象か）

市民。但し，もりおか地域 SNS では，対象年齢を 18 歳以上とし，市外在住の方も対象としている。

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23 年度実績	24 年度実績	25 年度実績	26 年度見込み	26 年度実績

A 市民の数	人	298,853	299,220	300,000		299,665
B						
C						

(3) 26 年度に実施した主な活動・手順

もりおか地域 SNS の運用管理を行った。

もりおか地域 SNS については，Twitter や Facebook など大規模な SNS の普及・浸透などもあり，SNS 上のコミュニケーションが多様化し利用ユーザが減少傾向にあること，サーバも老朽化し財政的な理由から更新が難しい状況であること等を踏まえ，平成 27 年 2 月 28 日をもって閉鎖した。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23 年度実績	24 年度実績	25 年度実績	26 年度目標値	26 年度実績
A もりおか地域 SNS の会員数	人	1,270	1,303	1,318		1,314
B もりおか地域 SNS のコミュニティ数	団体	253	263	268		261
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

市民が，インターネット上で気軽に意見交換・情報交換することができる。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23 年度実績	24 年度実績	25 年度実績	26 年度目標値	26 年度実績
A インターネットを利用している人の割合（市民意識調査を基にした推定値）	■上げる □下げる □維持	%	61.6	69.2	69.2		69.2
B もりおか地域 SNS のアクセス数	■上げる □下げる □維持	回	2,028 万 9,000	1,707 万 6,624	789 万 7,117		1,021 万 9,023
C	□上げる □下げる □維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23 年度実績	24 年度実績	25 年度実績	26 年度計画	26 年度実績
事業費	① 国	千円	0	0	0	0	0
	② 県	千円	0	0	0	0	0
	③ 地方債	千円	0	0	0	0	0
	④一般財源	千円	2,043	2,041	2,020	1,033	928
	⑤その他（ ）	千円	0	0	0	0	0

	A 小計 ①～⑤	千円	2,043	2,041	2,020	1,033	928
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
計	トータルコスト A+B	千円	6,843	6,841	6,820	5,833	5,728
備考							

3 事務事業の評価（See）

(1) 必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

インターネット上で気軽に意見交換・情報交換できる環境を提供することなどにより，結果に繋げることが可能である。

② 市の関与の妥当性

国の「e-Japan 戦略」を背景にした盛岡市の「情報化基本計画」のアクションプラン（行動計画）の一つであることから始まった事業ではあるが，当該事業によるネットワークにおける地域コミュニティが形成されたことや，事業開始当初に比べ SNS の一般普及が進んだことから役割を終えたものであり，市の関与の妥当性は低い。

③ 対象の妥当性

もりおか地域 SNS では対象年齢を 18 歳以上としているが，責任能力の観点から適切である。

④ 廃止・休止の影響

Facebook や Twitter など民間企業の運営する他 SNS の普及に伴い，明らかな利用率の低下と常時利用者の固定化が見られることから，現在のもりおか地域 SNS ユーザが他 SNS を代替利用することで，ネットワークによる地域交流の場を設けることが可能であり，もりおか地域 SNS を廃止することによる影響は少ない。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

Facebook や Twitter など民間企業の運営する他 SNS の一般普及により，もりおか地域 SNS の周知による利用率向上の余地は少ない。

(3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

もりおか地域 SNS では対象年齢を 18 歳以上としているが，責任能力の観点から適切である。

(4) 効率性評価

事業開始当初の機器を使用して運用しているが，事業継続にはサーバの更新による経費が必要となる。SNS の一般普及により，Facebook や Twitter など民間企業の運営する他 SNS を代替利用することが可能であり，もりおか地域 SNS の利用率の低さを鑑みても費用対効果の面から事業を終了することが妥当である。

4　事務事業の改革案（Plan）

(1) 概要（新しい総合計画体系における位置付け）

総合計画体系（新）	施策（方針）	地域コミュニティの維持・活性化	コード	9
	小施策（推進項目）	コミュニティ活動の支援	コード	0901

(2) 改革改善の方向性

もりおか地域 SNS を稼働しているサーバの保守期限が，平成 27 年２月となっているため，事業継続には機器更新が必要となる。また，事業開始当初に比べ他 SNS の普及が進んでおり，「市民がインターネット上で気軽に意見交換・情報交換できる環境」はもりおか地域 SNS 以外でも一般的なものとなっていると考えられるため，事業を終了した。

(3) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

もりおか地域 SNS の利用者に対し交流環境の喪失という不利益を与えるため，ボランティアスタッフと十分な協議を行い，もりおか地域 SNS の利用者用にデータのエクスポート機能及び他 SNS へのインポート機能を構築し，他 SNS への移行を支援することで，理解を得ることが出来た。

5　課長意見

(1) 今後の方向性

□　現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
□　改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
■　終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

① 全体総括

公共施設等へ設置したデジタルデバイド解消のためのインターネット端末については，ＰＣ等の普及が向上したこと，利用者が減少傾向にあることなど，所期の目的が達せられたものと判断し，平成 25 年度をもって終了している。

地域コミュニティ（もりおか地域 SNS）については，Twitter や Facebook など大規模な SNS の普及・浸透などもあり，SNS 上のコミュニケーションが多様化し利用ユーザが減少傾向にあること，サーバも老朽化し財政的な理由から更新が難しい状況であること等を踏まえ，平成 27 年 2 月 28 日をもって閉鎖済みである。

② 今後の改革改善の内容

スマートフォン等，無線 LAN を利用可能な端末が急速に普及しており，総務省においても災害時でも効果的に情報を受発信できる通信手段として，公衆無線 LAN の整備促進に取り組んでいる。

また，公衆無線 LAN（Wifi スポット）の整備により，市民等が来庁した際に行政情報や観光情報が入手可能となることから，公共施設への公衆無線 LAN の整備を進めていくこととする。